

# 京都市立病院の在り方検討中間報告 公的病院の機能強化を



東京商工リサーチの調査で、病院や診療所を運営する事業者の倒産が2025年に41件となり、3年連続で前年を上回りました。倒産のほかに休廃業・解散が25年度に436件あり、事業者の消滅件数は477件となりました。政府の医療費抑制政策の上、物価高騰などで深刻な事態なのに診療報酬など必要な手当を行わなかつた結果です。GemMed（ジエム・メド・医療系ニュースサイト）の2024年度の自治体病院1143施設を対象とした調査では、86%が

病院・診療所連続増

経常赤字、95%が医業赤字という過去最悪の結果が報告されています。市立病院も令和6年決算は純損益で14・4億円の赤字です。自治体病院の赤字自体は異常事態ではなく、むしろ地域医療を政策的に維持している証です。赤字削減ありきではなく、自治体病院として役割を果たすよう求めました。

経常赤字、95%が医業赤字という過去最悪の結果が報告されています。市立病院も令和6年決算は純損益で14・4億円の赤字です。自治体病院の赤字自体は異常事態ではなく、むしろ地域医療を政策的に維持している証です。赤字削減ありきではなく、自治体病院として役割を果たすよう求めてました。

染症について、関係者のヒアリングでも「歴史的経緯（かつて東洋一の感染症病棟があった）もあり、市立病院の強みです。今後も中核的な役割を担い、強化していくべき」「感染症課の専門医が充実しており、新興感染症発生時の第一号患者を受け入れる等、地域の拠点となっている」との院内評価があります。

コロナの教訓は平時の体制に余裕が必要ということでした。このことを忘れたかのような非効率を口実に病床などの削減は見直すべきだと求めました。

染症について、関係者のヒアリングでも、「歴史的経緯（かつて東洋一の感染症病棟があった）もあり、市立病院の強みです。今後も中核的な役割を担い、強化していくべき」「感染症課の専門医が充実しており、新興感染症発生時の第一号患者を受け入れる等、地域の拠点となっている」との院内評価があります。

金・交付金も減少し現場の求めとは逆行しています。令和5年16・7億円が令和6年は14・5億円に減少しています。令和4年決算では18・7億円でした。本市の役割が後退しています。



まいとおおきは  
山田じゅうじです！  
NO.350

火曜日から金曜日の朝  
7時半から8時まで朝宣  
伝。2011年からかみ  
ね史朗さんと二人で15  
分ずつ訴えていましたが、  
2023年4月の選挙以  
来、後援会の方も一緒に  
立っていましたが、ずつ  
と一人で訴えていました。  
今年に入り、新しい相  
棒ができました。山口咲  
子府政対策委員が一緒に  
訴えています。

一緒に立っていた後援  
会の方々も「宣伝の雰囲  
気がいっぺんに様変わり  
です」と大いに盛り上がり  
ています。

連日厳しい寒さが続き  
ますが、今年も頑張りま  
す！

おじおおせ

三田文庫デカ一  
2013.08